

# 週間漁海況情報 2021年第30号

令和3年8月3日発行

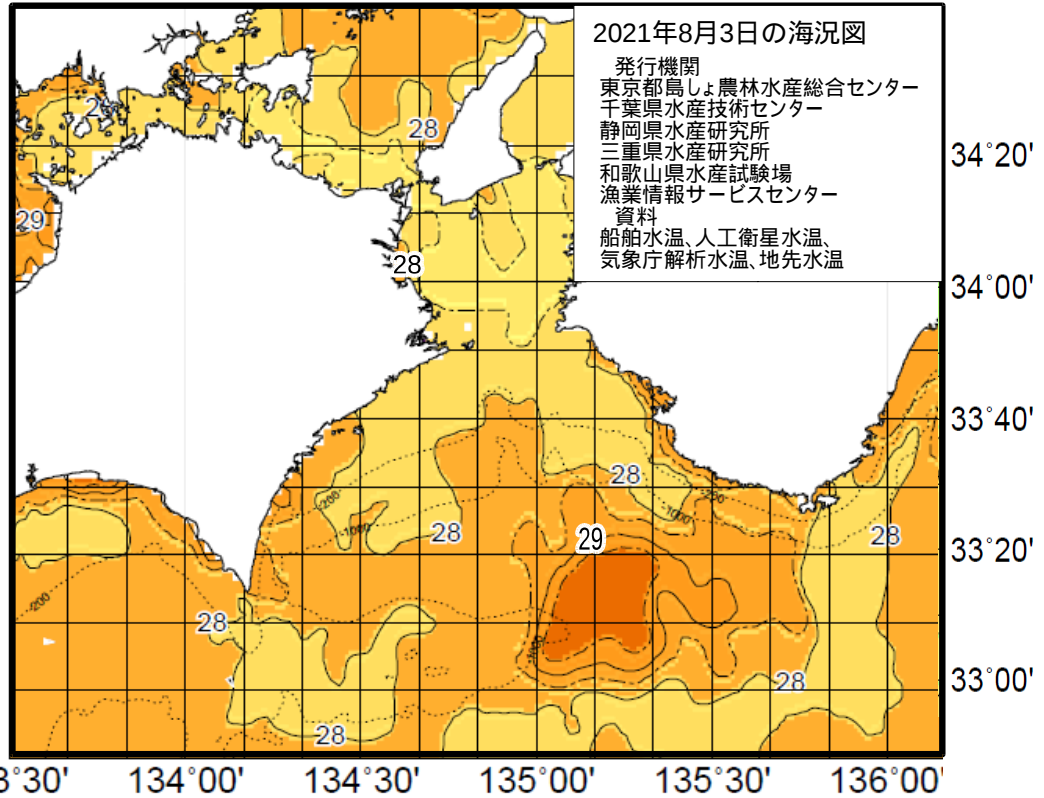
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖46マイル、潮岬沖78マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「離岸」となっている。

黒潮から海部海域への暖水波及は弱回っている。黒潮の表面水温は28～29 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに27～28 台となった。



黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～  
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

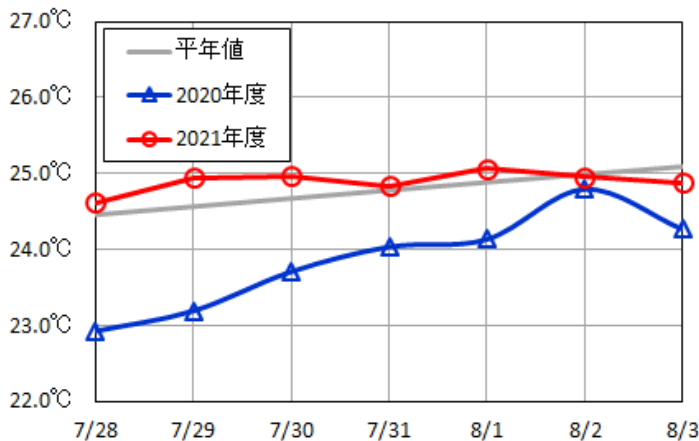
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

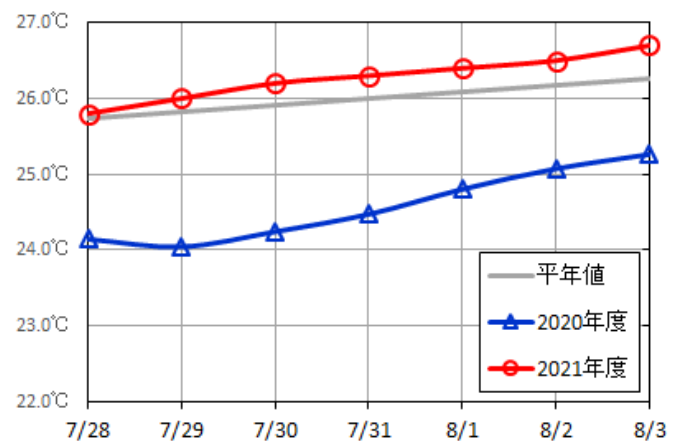
### 2. 地先水温(2021年7月28日～8月3日)

鳴門地区の水温は24.6～25.1、日和佐地区は25.8～26.7 でいずれも「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は1.0～1.8 になった。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満  
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(8月4日～8月10日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」で、潮岬沖で「離岸」から「著しく離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」に推移する見込み。

**漁況** (7月26日～8月1日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)**

船びき網では、シラスが増えて250トン水揚げされた。  
 延縄では、ハモが減って中主体に8トン、タチウオが増えて特大主体に0.4トン水揚げされた。  
 小型定置網では、ブリが大きく増えて小主体に1トン、マサバが増えて大主体に0.7トン、イサキが減って大主体に0.7トン、マアジが増えて小小主体に0.6トン、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.6トン、カンパチが大きく増えて0.3トン水揚げされた。  
 底びき網では、ハモが増えて中主体に16.7トン水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)**

延縄では、キダイが大きく増えて大主体に0.8トン、アカムツが増えて0.5トン、あまだい類が0.2トン水揚げされた。  
 小型定置網では、マアジが増えて小小主体に1トン、ウルメイワシが大きく増えて0.6トン、マサバが大きく増えて0.6トン、カンパチが大きく増えて0.3トン、かます類が大きく増えて小小主体に0.2トン、とびうお類が大きく増えて小主体に0.2トン水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	125	シラス	250,000	2,000		
	延縄	64	ハモ	8,049	126	中主体	
		68	タチウオ	396	6	特大主体	
	小型定置網	16	ブリ	970	61	小主体	
		13	マサバ	747	57	大主体	
		16	イサキ	656	41	大主体	
		26	マアジ	624	24	小小主体	
		19	ふえふきだい類	603	32	大主体	
		21	カンパチ	289	14		
底びき網	48	ハモ	16,743	349	中主体		
海部沿岸	延縄	36	キダイ	848	24	大主体	
		36	アカムツ	486	13		
		35	あまだい類	236	7		→
	小型定置網	19	マアジ	1,014	53	小小主体	
		2	ウルメイワシ	649	325		
		14	マサバ	592	42		
		21	カンパチ	329	16		
		17	かます類	218	13	小小主体	
21	とびうお類	215	10	小主体			

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: